

- The future type system tool for construction -



SYSTEM STATION CO.,LTD.

## ● 豊富な積算基準を搭載

- ・各都道府県 土木工事標準積算基準書
- ・国土交通省 土木工事標準積算基準書（共通編/河川・道路編/電気設備編）
- ・下水道工事積算基準
- ・下水道用設計積算要領 管路施設（開削・推進・シールド工法）
- ・推進工法用設計積算要領（立坑・小口径管推進・泥水式推進工法）
- ・下水道管路施設維持管理積算資料
- ・水道事業実務必携
- ・農林水産省土地改良工事積算基準（土木工事）
- ・治山林道必携（積算・施工編）
- ・港湾土木請負工事積算基準
- ・橋梁架設工事の積算
- ・公園・緑地の維持管理と積算
- ・造園修景積算マニュアル
- ・UR都市機構（土木・造園工事積算要領）
- ・設計業務等標準積算基準書
- ・公共建築工事積算基準（建築・電気設備・機械設備）
- ・その他（参考歩掛り）

※編集・発行（略称）

## ● 安心サポート

- ・電話・FAX・E-mail
- ・現地訪問ご指導
- ・ヘルプメニュー
- ・簡易マニュアル
- ・インターネットによるアップデート

## 動作環境

- OS：Windows 8(64/32ビット版)/Windows 7(64/32ビット版)/Vista/XP
- CPU・メモリ：上記OSの推奨する動作環境に準じます  
参考 CPU Pentium4 1.5GHz 以上、メモリ 1GB以上
- 解像度：1024x768ドット以上
- ハードディスク：必要容量1GB以上
- CD-ROMドライブ：上記OSで動作可能なCD-ROMドライブ
- プリンタ：上記OSで動作可能なプリンタ
- ・プロテクトキーの接続に、USBポートが必要

SYSTEM STATION CO.,LTD.  
株式会社 システムステーション

# 最高の技術と英知を結集した プロフェッショナルのための次世代型積算システム



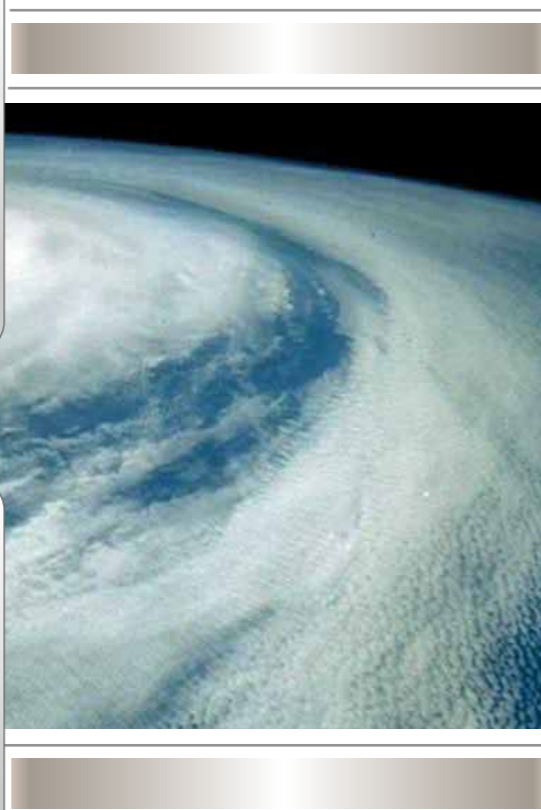
WitS is シンプルな使いやすさと高度な自動積算機能を併せ持ち、正確で効率的な積算を実現する。先進の機能が豊富に組み込まれており、スムーズな操作で確実な積上げを可能にする。積算に携わるプロフェッショナルの声を最大限に反映し、常に進化し続ける。

## Wit

●積算 & 見積書作成システム

WitSS

Microsoft Windowsとの融合 次世代型積算システム  
直感的な操作と汎用性の高い機能で、情報にスピードとインパクトを与える



## Option

●実行予算システム「WitSJ」(オプション)

WitSJ

日進量から生まれる実行予算の基盤をつくり、経験と勘を生かして原価管理へつなぐ

## Excel

●Excel 連携 Vol.1 出力

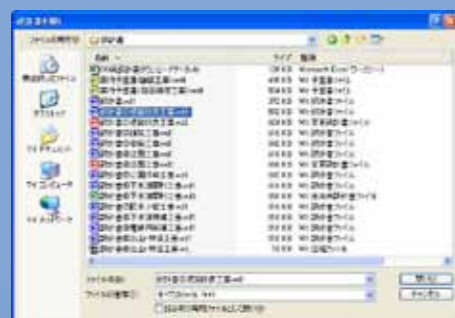
Excelシート連動型、組織全体に情報を展開する

これまでの積算ソフトでもExcelに出力できますが、CSV抽出・縦横計算までが精一杯。「WitSS」では、内訳・明細書～代価・単価表まで、シート間で連動する形を取る事により、特定から複数へと情報連携・共有が実現されます。

●Excel 連携 Vol.2 確認→検証→編集

入力数量確認、作業別必要日数確認、施工材料単価確認

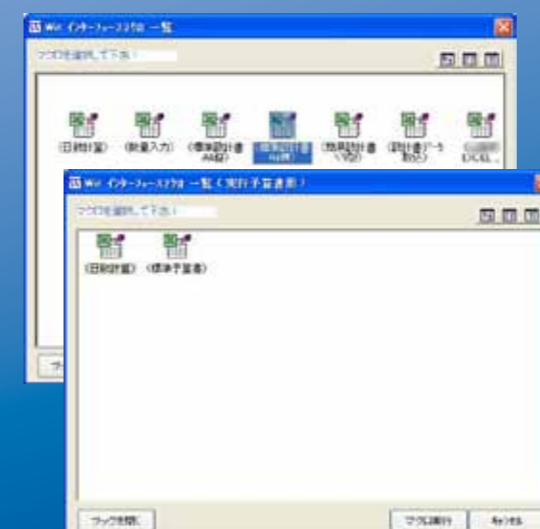
汎用性の高いExcelをフル活用する事で、現場担当者や協力会社とのスムーズな連携がとれ、確認・検証・編集作業を迅速かつ合理的に行う事ができます。



Witデータファイルは、単体としてマイドキュメントやマイコンピュータ内と場所を問わず保管でき、サーバーPCが「WitS」インストール済みであれば管理 & 共有化できます。

- (当初) 設計書
- (変更) 設計書
- (出来高) 設計書
- 実行予算
- 圧縮

### Excelとの相互インタフェース「WitSS & WitSJ」⇔「Excel」

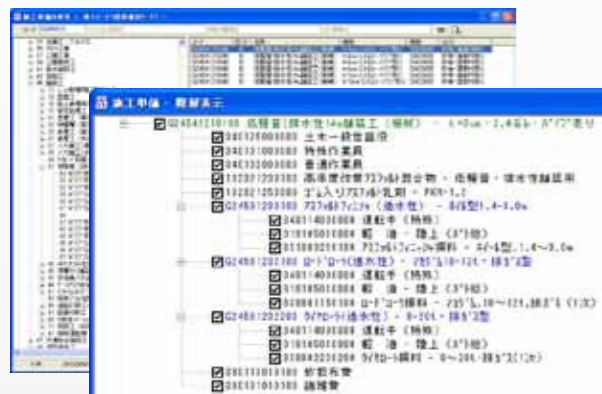


- ①設計書：マクロ（数値設定済み）のため、内訳書から運転単価表に至るまで単価もしくは数量を変更すると数値は自動的に再計算を実行します。
- ②数量入力：設計書の数量を一覧表で確認できます。入力ミスのチェックに最適です。その変更データを積算システム「WitSS」に反映できます。
- ③日数計算：公共歩掛り特有の日当り施工量を、自社の日進量に簡単に置換え、その変更データを実行予算システム「WitSJ」(オプション)に反映できます。
- ④設計書取込：発注書側からの設計書Excelデータを「WitSS」へ取込めます。文字等反映しづらいPDFでのデータも、一度Excelに変換し取込む技術を実現しました。



データ蓄積型積算

設計条件を毎回入力するのは面倒なため、既に条件別(主材料&厚さ&重機)に作成された代価表を選択し、設計数量を入力する簡易型を採用。時間短縮を意識した設計です。選択する代価表の根拠を事前に確認出来ます。

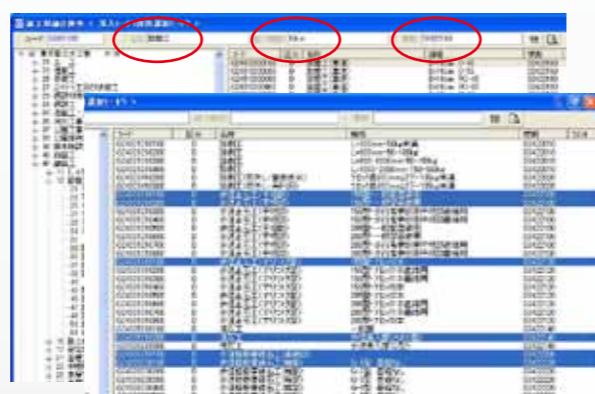


勿論、条件が複数(複雑)もしくは直接実数値入力が必要な工種については、入力画面がポップアップ~選択する方式。また、工種をまとめて選択し連続的に条件入力する事や、同工種全体をツリーで表示し入力する事が可能な効率UP設計。



簡単検索機能

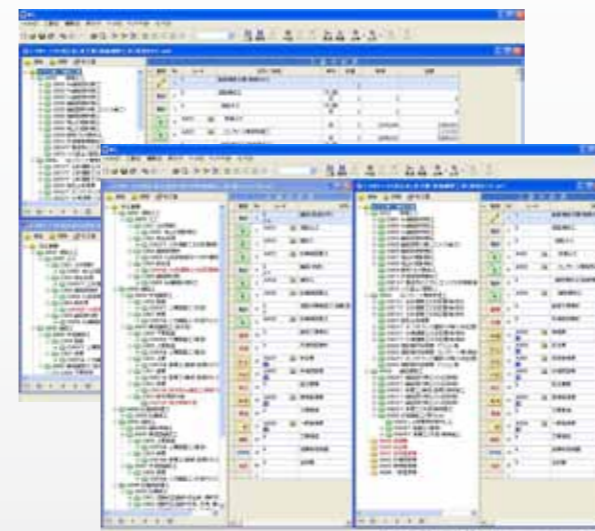
該当するコード・名称・規格を絞込みにて簡単検索。更に、大分類行で中分類以下の工種も一覧(平面)表示できますので、積上げたい工種をチョイスして内訳書内に一気に取り込めます。



- その他
  - I.オリジナル工種体系: 地域工種を事前登録でき選択に迷いません。
  - II.経費再計算機能取除き: 追加積上や単価調整 毎に自動で最新の経費計算を行います。
  - III.データファイルメール送信: リアルタイムにファイルを圧縮→添付しメール送信できます。
  - IV.材料調書(材料・労務・外注・経費・等 要素別集計)を、工事全体もしくは工種毎に表示&出力ができます。
  - V.工種名称の登録: 入力の手間を軽減します。
  - ・・・etc

複数工事を再利用

過去に作成した設計書を複数(左右・上下・重ねて)同時に開き、現設計書に必要な代価表・単価を部分コピー&ペーストできるため、新たな作成(積上)を極力せず、効率よく積算時間の短縮に繋がります。



- その他
  - I.設計書ファイル毎にパスワードを設定できます。
  - II.独自で作成したExcelデータを簡単に取り込めます。
  - III.元に戻す: うっかり削除ミスを回避できます。
  - IV.データファイルを自動バックアップします。
  - ・・・etc

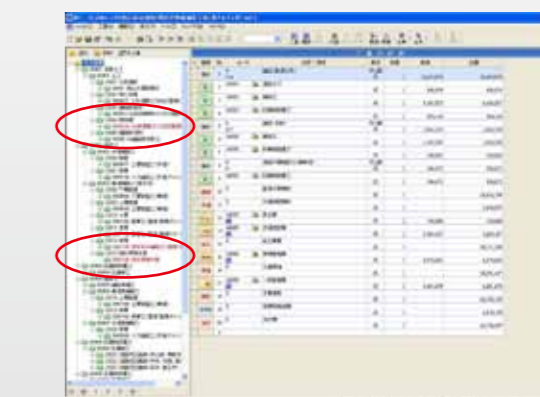
昼夜間 労務単価変更

積上げ完了後、ツリー表示から工種毎に昼間・夜間設定が可能に! 昼・夜間が連続表記されている設計書に威力を発揮します。



金額未入力の表示

不明確な見積単価や特殊単価を後回しに積上げた場合、代価表内もしくは対象単価を赤く表示します。うっかりミスを回避できる親切設計。



逆算シミュレーション

予定価格の公表がある地域では、工事価格から逆算し、直接工事費の目安や純工事費&現場管理費をシミュレーションすることができ、価格競争に活用できます。直工費に占める処分費・管材料費・・・等々 対象金額から除く算出も勿論OK。最新の最低制限価格(参考値)の計算機能も追加



Easy 簡単

便利 Utility

Correct 正確

印刷 Print

環境設定(丸め補正)

直接工事費から諸雑費・間接費に至るまで、発注側によって異なる丸めをキチンと設定出来る事により、より精度の高い算出ができます。



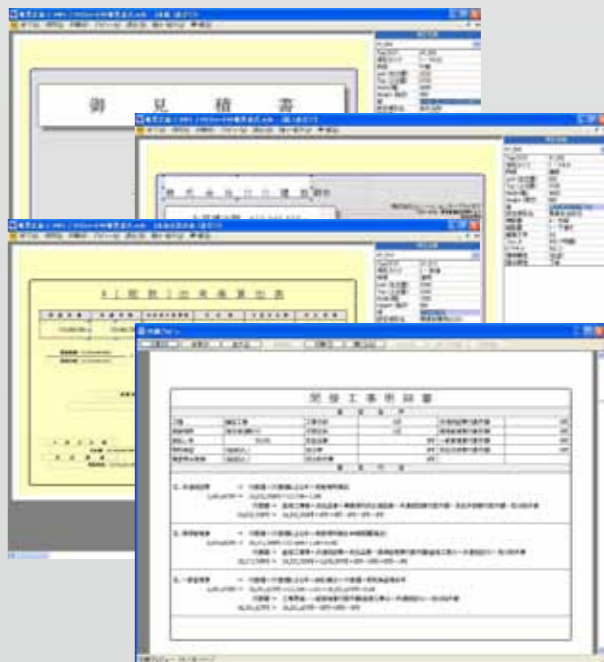
プレビュー画面

設計書を作成中にプレビューボタンでいつでも印刷状態を確認できます。



印刷設定とオリジナル帳票

金抜き、ヘッダー&フッター、計算式などの設定が可能。また、表紙や鑑等オリジナル帳票が作成でき、民間工事に活用できます。



● Excelシート連動型機能

【出力例】索引～本工事内訳書～内訳・明細書～代価・単価表

本工事内訳書

品名	数量	単価	金額	単位
...	...	...	...	...

● 代価表一覧

単価契約・見積契約・委託工事に活用

品名	数量	単価	金額	単位
...	...	...	...	...

● 要素別単価表

設計単価を協力会社・民間工事・実行予算用単価に自在編集

品名	数量	単価	金額	単位
...	...	...	...	...

※ 単価や数量を変更するとシート間で数値が瞬時に変わり再計算します

Macro マクロ

● 設計数量表

工種毎に数量を平面階層表示。確認しやすく、入力ミスを回避。協力会社との業務連携にも活用

● 日数計算(公共基準歩掛り日進量)

工種毎に日数を平面階層表示。交通整理員の配置日数や仮設工等の賃料(損料)日数算定に活用

双方向

Two-Way

● 設計数量の変更

変更数量入力から更新する事により、「WitSS」へデータ連携。変更設計や出来高設計にも活用

● 日進量の変更

自社日進量に置換え更新する事により、「WitSS」へデータ連携。入札前の短期間に利益計画の策定に威力を発揮

● 実行予算システム「WitSJ」(オプション)

実行予算システム「WitSJ」では、Excel側で自社日進量に変更する事により、双方向データ連携機能にて「施工日数表示」や「積算側との金額対比」が行えます。また、歩掛りは1日当りの施工量に展開表示するため、施工日数を意識しながら日進量の調整を行う事で目標値が設定(根拠が明確)でき、最終実行金額の取決め～予算内訳表(要素別)への出力が出来ます。

WitSJ

● 単価(要素別)編集

設計書から要素別に単価を抽出し、設計単価を意識しながら予算用単価に編集。勿論、編集後の単価データは即座に工事費に反映します。